

---

---

## 山梨市小学校経営研究会

---

---

### 社会の変化に主体的にかかわる教育の推進

#### －国際社会を主体的に生きる資質や能力を育む国際理解教育－

## I はじめに

社会や経済のグローバル化が急速に進展し、多くの国々との交流の機会が増す中で、幅広い言語に関する能力や国際感覚の基盤を培い、積極的にコミュニケーション能力を図ろうとする態度を育てる必要がある。外国語活動をはじめ、様々な教育活動を通して、豊かな表現力やコミュニケーション能力を育て、活用する教育の推進について、校長の果たすべき役割や在り方を明らかにしていきたい。

## II 研究の概要

山梨市では、平成15年度より市独自の体制をつくり、英語活動に積極的に取り組んでいる。本研究では、英語活動に関する実態や意識を調査し問題点や課題を洗い出し、その解決に向けての取り組みと校長の関わりについて明らかにするとともに各校の国際理解教育の実践を報告し交流を深めていく。

### 1 研究計画〈2年計画〉

- (1) 研究計画の立案(1年次)
- (2) 英語活動に関する実態・意識調査 1年次教職員, 2年次児童対象
- (3) 課題解決の取り組みと校長の関わり
- (4) 各校の国際理解教育の交流
- (5) 研究のまとめ(2年次)

### 2 調査結果と考察から

1年次：市内11小学校の教諭(125名)対象

2年次：同11校の3~6年生(1,474名)対象

- (1) 指導に「負担を感じる」が多くないことは、JTEの存在が大きいと思われる。
- (2) 教師を支援するALTやJTE等の条件整備が不可欠である。
- (3) 実践により児童がよい変化をしている。好ましい方向で実施されてきたと言える。
- (4) 「楽しい」が9割を超え、山梨市の小学生は英語活動に楽しく取り組んでいる。
- (5) 学年を問わず、体を動かす活動的な内容に楽しさを感じていてねらい通りである。
- (6) 教師・児童共、3/4が英語活動を通して自己の高まりを感じている。

## III 成果と課題

### 1 成果

児童が楽しく英語活動に取り組むと共に、児童自身はもちろん、教師から見ても児童によい変化があったこと、またそれが他の場面にも生かされていることが示された。このことは、山梨市において7年間に渡り英語活動の推進を積極的に行ってきたこと、山

梨市学校経営研究会が山梨市教育委員会と積極的な連携を図り、ALTとJTEの2人体制づくり、「山梨市小学校英語活動推進協議会」を中心とした「山梨市小学校英語活動案集」の作成や教職員研修の実施など、組織づくり・内容づくりに積極的に係わってきた成果である。

## 2 課題

7年間培われてきたALTとJTE及び英語コーディネーター・英語ボランティアによる授業という山梨市小学校英語活動の体制の維持・改善を行う。教師の指導力量を伸ばす研修会などに取り組む。新指導要領に示された「外国語活動」の目標と内容を踏まえながら、「山梨市小学校英語活動案集」を活用・改善し、児童にとって楽しく充実感のある授業づくりを行っていくことが課題である。

## IV 課題解決に向けての取り組みと校長の役割

2カ年の研究において明らかになった課題解決に必要な取り組みの内容と、それに校長としてどのように関わっていくかについては次のようである。

### 1 組織的な連携について

- (1) 山梨市小学校英語活動の推進に係わり、市教育委員会と市学校経営研究会が協議・連携しながら取り組みを進めている。
- (2) 市の英語活動推進母体である「山梨市英語活動推進協議会」において、その中心としての役割を負うと共に、市校長会の考えを反映させるようにしている。

### 2 山梨市の体制の継続と改善について

- (1) ALTとJTEの2人体制を継続するように市教育委員会へ要望し、2年次には、市内全11校にALTとJTEの二人体制が確立した。
- (2) 文科省の学校支援地域本部事業により、各中学校区全てに英語コーディネーターが配置され、校長が各地域協議会の会長・副会長として活動を推進している。
- (3) 教材、教具の整備費として、「山梨市英語活動推進協議会」を通じ、各校に予算が計上され、2年次も継続している。
- (4) 2年次9月より、一部ALTを委託事業により配置するにあたり、委託先の選定や配置ALTの勤務態勢等に係る内容を市教委及び委託会社に要望した。

### 3 教職員の指導力向上のための取り組みについて

- (1) 県教育委員会主催の小学校外国語活動中核教員養成研修を受け、各校毎に年間15時間程度の校内研修を実施し、指導力の向上を図っている。
- (2) 2年次には、市教育委員会による教師の指導力向上のための研修会を、市内の全教諭を対象に「山梨市英語活動推進協議会」主催で実施した。
- (3) 2年次、「山梨市小学校英語推進協議会」の視察研修を実施。各校の担当者を対象に、「埼玉県春日部市立粕壁小学校」を訪問し、実践研究を学んだ。

### 4 英語活動実践の推進について

- (1) 年間指導計画を見直し、5・6年生の授業増加分(10時間)を英語ノートより組み込み、指導計画を作り直した。
- (2) 児童アンケートに基づき、楽しく充実感のある授業の改善を目指し、校内指導体制や授業づくりを指導した。

(部長 雨宮政文)